

【所属名：能生事務所 有線テレビ係】

【会議名：令和5年度第1回放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会】

## 会 議 録

作成日 令和5年7月25日

日	令和5年7月21日（金）	時間	13：30～15：20	場所	能生生涯学習センター 2階 第1会議室
件名	議題(1) 会長及び副会長の選出について（公開） 議題(2) 報告事項(公開) 議題(3) 放送施設運営に関すること（公開） ・令和5年度事業計画について 放送番組審議に関すること（公開） ・7月5日(水)～11日(火)放送「ニューストピックス」について				
出席者	【出席者】 4名 放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会委員 猪又委員、川合委員、齋藤委員、丸山委員（欠席：真見委員） 【事務局】 6名 総務部 渡辺部長 総務課 大平係長 能生事務所 高野事務所長、武藤係長、池亀主査、磯谷主査				
	傍聴者定員		— 人	傍聴者数	— 人

### 会議要旨

<p>1 開会（13：30） 高野事務所長</p> <p>2 部長あいさつ 渡辺総務部長</p> <p>3 委員及び職員紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について 「事務局一任」の声あり。事務局案を提示し、承認された。 会長…齋藤 泰夫委員 副会長…猪又 芳夫委員</p> <p>(2) 報告事項 【事務局】資料に基づき、生中継放送と番組作りボランティアについて説明 委 員）番組作りボランティアに登録いただいている方は、能生地域の方か。 事務局）現在登録いただいている3名は、全員能生地域にお住まいの方。 委 員）ボランティアの方への報酬がなく「薄謝」としているが、作業の内容によって規程があるのか。 事務局）地域対抗駅伝競走大会に協力いただいた3名は、一般2名、高校生1名だったが、作業内容や年齢に関係なく、同等の謝礼内容とした。あくまで、報酬目的ではなくボランティアとして参加いただいていると考えているが、今後は、実働時間や作業内容によって、謝礼</p>
---

の内容も検討したい。

委員) ボランティア活動の場面とは、どんな時か。

事務局) 駅伝大会などの生中継が、一番人手不足になっているのが現状。

委員) 同じ方にばかり依頼するのでは、都合がつかない場合に回って行かなくなるので、より大勢の方に登録していただいて、日程や作業内容によって振り分ける体制が理想である。

委員) 番組作りボランティアの取り組みは、他のケーブルテレビ局でも行っているか。

事務局) 業者に委託したり、報酬を支払って協力してもらったりしている局はあるが、ボランティアという形は聞いていない。

近隣のケーブルテレビ局同士で、共同で撮影したり、制作したりしている例はある。

委員) ケーブルテレビ局同士の共同制作は、他の地域の情報が得られるメリットがある。

事務局) ケーブルテレビ局の運営形態にもよる。民間同士では、費用の面からも比較的スムーズに協力体制が整うが、そこに行政局が参加するには、費用やスポンサーなどクリアしなければならない問題が出てくる。

委員) 高校生のボランティアがどんどん増えることを期待する。

高校の「放送部」や「新聞部」の活動として手伝ってもらえればよいのではないか。

事務局) ボランティアの募集は、人手不足解消だけでなく、違った見方や手法など新しい風を取り込むことによって、より新鮮な番組作りにつながるという狙いもある。

また、このボランティアを通じ高校生の職業の選択肢に加えられるれば理想的だと考える。

委員) 放送機器が高価なものであるので、活動中の方が一に備え、補償などの制度を整え、ボランティアの負担や不安につながらないように配慮願いたい。

また、生中継では何が起きるかわからないので、保険の対応なども準備してもらいたい。

事務局) 保険については、「市民総合賠償保障保険」で対応することで了承いただいている。

委員) ポスターやチラシなどイベント情報を、文字テロップなどに作成する作業があれば、私もボランティアとして協力させていただく。

委員) 特殊な技術や感性が必要となる「編集作業」をしたいという意見があると聞き、驚くとともに感心した。すでに、編集作業のボランティアをお願いしたことはあるか。

事務局) 現在登録いただいている3名の方には、まだ編集を依頼していないが、職場体験の中学生に、取材や撮影、レポートなどニュース編集を体験してもらったことがある。

職員では考えつかない斬新な手法やアイデアがあった。

事務局) 動画編集だけでなく、毎日更新している「文字放送」の作成も時間をかけて行っているものなので、ボランティアの申し出をいただき大変心強く感じる。ぜひ、ボランティア登録をお願いしたい。

### (3) 令和5年度事業計画について

【事務局】資料に基づき、令和5年度の事業計画について説明

委員) 加入件数の中には、保育園や学校等は含まれているか。

事務局) 教育関連施設や事業所も全て含まれており、月々の使用料もいただいている。

委員) 加入者からの施設使用料収入と交付金で運営しているが、加入世帯数が減少傾向にあり、単年度収支がマイナスになっている。地域の情報を得る手段として必要な施設であることは認識しているが、加入者が減少する中で今後の運営計画について聞きたい。

事務局) 開局した一番の目的が「難視聴解消」なので、その部分を第一に考えていかなければならない。「自主放送」についても、これまでの会議の中で「人口減少対策などの観点から、継続してもらいたい」とのご意見をいただいている。

今後について、検討が必要な時期に来ているが、いま現在、具体的な方向性は出ていないのが実状である。継続のためには、使用料の改定や他事業者への事業移行なども含めて、今後、調査・研究が必要になると考える。

事務局) 今後、加入者が増える見込みが難しい状況の中で、当面は、経費削減など自助努力をしながら維持していくことになるかと考えるが、将来、使用料の改定が必要になった場合、加入者の皆様に納得していただけるような運営方針や、よりよい番組作りに努めていくことが一番の改善策かと考える。

委員) 様々な物価が上昇している昨今、放送施設関係で特に値上げを覚悟していかなければならないものはあるか。

事務局) いま現在、使用料の改定を検討している段階ではなく、当面は現状で運営していく予定であるが、周りの情勢次第でいつかは使用料改定の検討が必要になると考えている。

委員) 消費税率が改定になった時に、使用料の改定についても話題になったが、その時は見送りになったと記憶している。そういう段階を踏んできている中で、今後、改定が必要になった場合、前もって何らかの事前周知がないと混乱を起こしてしまうことも危惧されるので、早めの対応をお願いしたい。

事務局) 有線テレビではないが、昨年ガス・水道料金の見直しをさせていただいた。その時には、半年から1年くらい前から、議会で審議いただくなど事前協議に時間をいただいた。様々な物価の値上げの中で、特に電気料金の高騰が市全体の財政に大きく影響しており、ケーブルテレビの運営でも負担が大きくなっていることから、いずれは使用料の検討も必要になってくると考えている。

委員) 信越トライウォークの更新はどのようになっているか。

事務局) 以前は1週間ごとの更新だったが、現在は2週間ごとの更新になっている。

委員) 2週間に一度の更新でも、話題を探したり編集をしたりすることが負担になっていないか。

事務局) 7局持ち回りで、何とか回している。

委員) 番組の視聴率を調査したことはあるか。

事務局) 昨年末に、能生地域にお住まいの方から1,000人を抽出してアンケートを実施した。486件回答があり、ニューストピックスと駅伝大会、花火大会の生中継についてはそれぞれ85%前後の方が「よく見る」または「見る」とお答えいただいた。

委員) 駅伝は、大会後の慰労会会場で、みんなで再放送を楽しんでいる。

学校関連の話題は、より多くの方に見ていただけるよう工夫しているか。

事務局) 学校や保育園には、取材に伺った時や放送日時が決定した時にお知らせし、保護者にもホームページ、メールなどを通じて周知していただいている。

委員) 一日のタイムスケジュールは、どうやって加入者に周知しているか。

事務局) 11チャンネルのタイムスケジュールは、毎月「番組表」を回覧しているほか、文字放送でもお知らせしている。

事務局) タイムテーブルは、テレビ画面の「電子番組表(EPG)」でもご覧いただけるほか、糸魚川タイムスの紙面でも「今週のニューストピックス」として、放送内容を掲載いただい

いる。

委員) 学校などからは、催し物やイベントの情報提供をいただいているか。

事務局) 年度当初に各学校から年間行事予定表をいただいているほか、学校から電話やファックスで取材依頼をいただくこともある。毎年の恒例行事について、職員の方から学校に問い合わせせて取材に伺うこともある。

委員) 学校の教職員に撮影していただくことはあるか。

事務局) 教職員は、授業や学校活動があるので撮影は厳しいと認識している。係員が伺うほか、各地区に配属されている集落支援員や保護者、担当課職員から協力いただくこともある。

委員) ビデオカメラは貸出ししているのか。

事務局) 番組作りサポーター、ボランティアの関連で、貸出し用のビデオカメラを用意している。

委員) 今年度の特集番組の目玉は何か。

事務局) 昨年度放送して好評だった、旧能生町山岳会提供の「鉾が岳山頂小屋荷上げの記録」を今年度も、「山の日」の前後に放送する予定だが、今年度は制作者が更に編集を加え、よりお楽しみいただける内容になった。

委員) 同番組は、昨年度、非常に興味深く視聴した。

委員) 昨年度放送した「縁あっていといがわ暮らし」は、今年度は放送するか。

事務局) 昨年度は2回放送した。企画として移住者が次の移住者を紹介するリレー方式としていたが、スケジュールの都合で、間が空いてしまっている。紹介型の企画の見直しが必要と考える。

委員) 糸魚川市に移住された方の、色々な意見や感想を聴くことはとてもいいことだと思う。

#### (4) 放送番組審議

・「ニューストピックス」について

##### 【事務局】

資料に基づき、ニューストピックス（7月5日(水)～11日(火)放送）について説明。

##### 【出席者】意見等

・権現荘でヨガ教室スタート

委員) 「ニュース」ということなので、現在の権現荘の様子を、映像だけでなくレポート形式で紹介してみたらよかったのではないかと。

ニュース性としては、もっと今後のイベント情報やアピールポイントを実況レポートしながら紹介するとよいのではないかと。

映像が早すぎた印象があった。

・糸魚川市防災訓練

委員) 訓練自体に緊張感がなくなっている印象を受けた。模範となるような地域や内容を紹介しますと、他の地区の刺激になるのではないかと。

委員) 以前、同じような訓練のニュースを見た時は、筒石地区で津波に対する避難訓練だったり、避難完了の黄色い旗のシステムだったりを知ることができて参考になった。

訓練のニュースでは、こうした参考になるケースを紹介してもらえるといいと思う。

先ほども申し上げたが、「ニューストピックス」は「おしらせ版」とならないように、

ニュース性を大事にインパクトのある話題や手法をお願いしたい。

例えば、ただ避難している様子を紹介するだけでなく、防災無線の「避難指示」放送をニュースの中で流すだけでも、緊迫した様子が伝わるのではないか。

事務局) より緊迫感が伝わるような取材や編集に努めるとともに、訓練のあり方について関係部署にも今回いただいたご意見をお伝えする。

#### ・第2回糸魚川市議会定例会最終日

委員) 議会中継は、個人的に毎回よく見ている。昨年末のアンケートでは、どんな回答だったか。事務局) 「よく見る」「たまに見る」を合わせて約44%となっている。

事務局) アンケートの数値はともかく、議会中継をご覧いただく方は、本当に関心をお持ちで、いわゆる「ながら視聴」ではなく真剣に観ていただいているものと考えます。

委員) 生活に直結する内容であり、関心が高いことだと思います。

委員) 市長の行政報告の内容を、文字テロップを用いて表示したことは、より分かりやすくよかった。個人的には、ニューストップックス全体の中で一番、好印象だった。

委員) テロップの入力は、技術的に難しいものか。

事務局) 行政報告については、原稿を基に作成しているので難しいものではないが、放送内容全ての言葉を聞き取りながら文字に起こすことは、相応の時間や労力が必要となる。

#### ・能生地域海開き

委員) 関係者のインタビューは、実際はもっと長い時間に及んだと想像するが、その中からコンパクトに要約してあり当事者自身の声で思いが伝わる編集だった。

事務局) アナウンス原稿で伝えるより、インタビューや現場の音の方がよりリアルに伝わると思うので、今後も生の声や音を大切にしていきたい。

委員) イベントなどでは、参加している方の意見や感想を聴くということがとても大切だと思う。それを取り入れることで、恒例行事であっても新鮮さが増す。これからも、インタビューを大いに取り入れていってほしい。

委員) アナウンスの喋りを省力化、手を抜くことも、いい効果を生み出すということ。

委員) 海開きの神事の場面を減らして、ここがどこの海なのかわかる映像をもう少し入れるとよかったのではないか。地元の海水浴場であっても、なかなか訪れることができない方もおり、昔と様子が変わっていることを映像で見せるのもいいと思う。

#### ・小泊港まつり

委員) 子どもたちの様子が、見ていて微笑ましかった。

#### ・いつものもしもCARAVAN

委員) 映像から、このイベントの地域との一体感が感じられてよかった。

## 5 その他

委員) これまで放送した番組を、有償でもいいからダビングして欲しいという要望を受けた。番組のダビングや、販売は可能か。

事務局) 民放キー局と同様に、著作権等の制限があり販売は難しい。各家庭で録画してお楽しみいただくことは問題ない。

見逃した番組については、ニューストップピックスは翌月に「前月のニュース総集編」として放送しており、特集番組についても年末などにリクエスト番組として再放送するようにしているの、ご理解とご協力をいただきたい。

委員) 上越ケーブルビジョンが放送している「高校野球県大会」などの番組を、生放送でなくても録画放送でも、能生ケーブルネットで視聴できる手段がないか検討いただきたい。市内でのケーブルテレビは、能生地域限定によるもので、他の地域の市民に羨ましがられる。特に議会中継や行政情報は、市民の関心や選挙の投票率を上げるための手段として、期待したい。そのために、もっとケーブルテレビの存在感をアピールしてもいいのではないかと思う。

番組制作としては、以前放送した「企業紹介番組」が印象深い。再度、糸魚川・青海地域の企業も含めてぜひ企画してもらいたい。

企業だけでなく農林水産業についても、その魅力を紹介してもらえたらいいと思う。

能生地域限定のケーブルテレビというのが、非常にもったいないと常々感じている。地域世帯の減少に伴い、加入世帯も減少しているということだが、市内全体に範囲を広げていくことも考える時期に来ているのではないか。

事務局) 議会中継をはじめ、NCNの番組は加入者の皆さまに施設使用料をいただいている関係で、地域外に配信することは難しい。議会中継は、インターネット配信もしているの、糸魚川・青海地域の皆さまにはそちらでご覧いただきたい。

能生地域のケーブルテレビは、もともと旧能生町全域のテレビ難視聴解消のために導入したもので、糸魚川・青海地域は一部難視聴区域はあるものの、各世帯でアンテナを設置することで対応できており、これが市全体にケーブルテレビを導入することに至らない理由のひとつと考える。

事務局) 他のケーブルテレビ局が制作した番組を放送するとなると、特に民間は「放映料」が発生する。また生中継番組は、局間でのラインが整備されていないため、配信はできない。新潟県内では、新潟、長岡、上越、佐渡の各ケーブルテレビ局が協議会を作り、ラインもつなげて、番組制作や配信の協力体制をとっているが、能生ケーブルネットは様々な負担面を鑑み参加していない。

事務局) 高校野球は、インターネットでも観戦できるのでスマホなどを活用いただく方法もある。ただし、インターネット配信は気象状況などの影響を受けやすいといった「防災面」でのリスクもあり、有線の光ケーブルのメリットが生きる場面もあるので、今後も施設の維持管理に努め、安定した再送信を行っていく。

委員) 「防災」という言葉が出たが、防災こそ市全体で取り組むべき問題であり、ケーブルテレビも然りである。

事務局) 「企業訪問番組」など番組の企画については、議会などでも提案いただいております人口減少対策に寄与できる番組制作も今後、検討していきたい。

委員) ニュースストップピックスの放送時間について、特に 18:30 からと 20:45 はNHKの新潟県内ニュースと被り、個人的にはこの時間は視聴できない。

長年継続しているタイムスケジュールなのだと思うが、こうした意見もあるということ

ご承知おきいただきたい。  
事務局) ご意見としてお聞きする。

6 閉会 (15 : 20)